

(別記第3号様式)

令和4年度千葉県リハビリテーション支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
病院名	千葉県千葉リハビリテーションセンター
重点活動項目	<p>昨年度に引き続き、県下の関係機関のネットワーク化を図り、以下4点に重点を置き、今後の時代に求められる地域リハビリテーションの展開を、検討・実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちば地域リハ・パートナーのあり方の検討 ・市町村へのリハビリテーション専門職派遣に係る窓口の整備 ・災害に係る地域リハビリテーションのあり方の検討 ・持ち上げないケア浸透の為の仕組みづくりの検討

1 広域支援センター支援（機能・役割：実施要綱第2の2ア・イ）

ア 担当者会議・研修会等

- ・千葉県地域リハ広域支援センター担当者連絡会議の開催（R4.6月、R5.3月予定）
- ・千葉県地域リハ広域支援センターとの実務者意見交換会の開催（年4回を目安）
 - ・ちば地域リハ・パートナーのあり方の検討
 - ・市町村へのリハビリテーション専門職派遣に係る窓口の整備
 - ・地域リハビリテーション出前講座のあり方の検討
 - ・地域リハビリテーションの効果指標の検討 等
- ・地域リハビリテーション関係機関の情報共有のためのメーリングリストの検討・整理
- ・県内の地域リハビリテーションに関わる会議等への出席や事業協力 等
- ・県が主催する会議・事業への協力

イ その他の支援

- ・広域支援センターへの圏域訪問や各種相談への対応
- ・広域支援センター主催事業への参加・協力（連絡協議会、パートナー会議、研修等）

2 関係機関従事者の人材育成・情報共有等（同エ・オ・キ）

- 県内地域リハビリテーション関係機関への講師派遣や相談対応
- 地域リハビリテーション調整者養成研修の実施
- 災害に係る地域リハビリテーションのあり方の検討
 - 千葉 JRAT 事務局機能の充実、発災時の人員派遣体制の構築、人材育成
 - 県主催の防災訓練への参加、等

3 普及・啓発（同カ）

- 千葉県全域を対象とした意見交換会の開催
 - 二次保健医療圏域を超えた地域リハ関係機関、関係者同士のつながりづくり
- 第16回千葉県地域リハビリテーションフォーラムの開催（令和5年2月予定）
- 持ち上げないケア浸透の為の仕組みづくりの検討
- 県内外のリハ資源に関する情報収集
- ホームページ、メーリングリストの整備・更新
- 千葉県の地域リハビリテーションの取り組みを全国へ発信する取り組み（全国地域リハビリテーション合同研修大会開催に向けた開催準備）
- その他

4 その他（同ウ他）

- 他の府県リハビリテーション支援センターとの意見交換、協働の検討

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	千葉 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	医療法人社団 淳英会 おゆみの中央病院
重点活動項目	<p>○地域医療機関及び介護施設、ちば地域リハ・パートナーとの協働を通し、地域の通いの場との連携、住民を主体とする介護予防の活性化、地域の課題解決に向けた取り組みを行う</p> <p>○COVID-19に対する感染対策の下、状況に応じた活動が継続できるよう新たな地域連携・地域リハビリテーション支援を検討する</p> <p>○リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <p>○障がい者スポーツ普及（ボッチャ）</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none">・千葉地域リハビリテーション連絡協議会 1回 令和5年3月開催予定（Web形式） 対象：千葉市地域包括ケア推進課、千葉市健康推進課、地域包括支援センター生活支援コーディネーター等 <p>イ その他の会議</p> <ul style="list-style-type: none">・千葉地域リハ・パートナー会議 2回 令和4年7月、令和5年3月開催予定（Web形式） 対象：ちば地域リハ・パートナー、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等・千葉市リハビリテーション連絡会 1回 令和4年9月開催予定（Web形式） 対象：市内リハビリ職種等

地域包括支援センターの地域課題に対するニーズを掘り起こす為、通いの場への専門職活用の事例を情報共有するなどし、リハ・パートナーと地域包括支援センターを含めて《地域リハビリテーション活動支援事業（千葉市）》の共通理解を深める。また、リハ・パートナーの登録については、現状、訪問看護ステーションなどの小規模施設が多く、派遣できるリハビリ専門職数が限られているため、まずは、所属法人の理解を得ながら、リハビリ専門職を多く抱える各区の中核医療機関の参加登録を取り付け、リハビリ専門職が地域に出やすい環境を整えるとともに、区内の医療・介護機関のスタッフ同士が気軽に相談できる関係性の構築を目指す。

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

- ・《地域リハビリテーション活動支援事業（千葉市）》への専門職派遣調整
- ・地域ケア会議及び多職種連携会議におけるリハビリ専門職派遣調整

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援
介護事業所・地域包括支援センター等へのリハビリに関する相談支援等

- ・電話（専用回線）、メール（専用アドレス）等による相談に随時対応し、必要に応じて各区の関係機関へ繋ぐ形としたい。
- ・上記事業所及びセンター等は、当広域支援センターの相談支援体制を把握していないことが考えられるため、まずは当広域支援センターを知っていただくための広報、周知に注力する。

④ 研修等の実施を通じた協働促進

- ・千葉市回りハ有志の会 2回

令和4年7月、令和5年3月開催予定（Web形式）

千葉市内の回復期病棟を持つ医療機関同士で情報共有（各施設の取り組みなど）や、管理者のみでなく若手スタッフも含めて交流することで、セラピストの育成やスタッフ同士が気軽に相談できる関係性の構築を目指す。

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- | | | |
|-------------------------|---|---------------------------|
| ⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓ | { | ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施 |
| | | ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 |
| | | ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 |
| | | ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組 |

（⑥）内容：地域からの依頼に応じて、医療・介護専門職の派遣調整を行う。

（再掲）

《千葉市地域リハビリテーション活動支援事業（千葉市）（一部）》

地域の通いの場への支援依頼が増加しているが、未だ地域差もあり、地域包括支援センターの地域課題に対するニーズを掘り起こす為、通いの場への専門職活用の事例を情報共有するなどし、リハ・パートナーと地域包括支援センターを含めて《地域リハビリテーション活動支援事業（千葉市）》の共通理解を深める。

また、地域からの健康教室等の依頼を積極的に受け専門職を派遣していく。

（⑦）内容：障がい者スポーツの普及

コロナ禍で減少したボッチャ体験教室の依頼が増加してきており、派遣調整しつつ改めて関係機関に感染対策を配慮した体験教室を広報、周知していく。

(⑧) 内容：地域リハビリテーション出前講座

昨年度は依頼がなかったが、依頼があった際には、感染対策に配慮し対応していく。

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	東葛南部 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	新八千代病院
重点活動項目	<ul style="list-style-type: none">・各市の実情に応じて地域支援事業等の窓口機能について、リハビリ専門職の協議体、パートナー、広域支援センターの役割を整理する。・各市の行政担当課と情報交換会・意見交換会を開催する。今年度は、障害領域の現状（障害者雇用）をテーマに実施する。・リハビリ職不在の関係機関向けの相談・支援について、昨年度から開始したオンラインを利用した摂食嚥下研修（施設等の多職種での食事ラウンド支援）を継続する。また、事業の効果についても検証する。

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築
ア 連絡協議会 年1回開催（R5.1月） 参集範囲：医療・介護機関、圏域内市町村、地域リハビリ協議体
イ その他の会議
<ul style="list-style-type: none">・ちば地域リハ・パートナー会議の開催（年1回） 概要説明、各パートナーが可能な支援についての意見交換等・ちば地域リハ・パートナー会議分科会（市単位）・地域リハビリテーション協議会（千葉県主催）の参加・地域リハビリテーション担当者連絡会議の参加（県支援センター主催）・地域リハビリテーション担当者意見交換会の参加（県支援センター主催）・各種地域リハビリテーション協議体主催会議の参加・協力・東葛南部圏域地域リハビリテーション広域支援センター会議（年12回）
②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力
1) 市川市への事業協力
<ul style="list-style-type: none">①市川市担当課との連携・協力②市川市リハビリテーション協議会との連携・協力
2) 習志野市への事業協力
<ul style="list-style-type: none">①習志野市担当課との連携・協力②習志野市リハビリテーション協議会との連携・協力
3) 船橋市への事業協力
<ul style="list-style-type: none">①船橋市担当課との連携・協力②船橋市地域リハビリテーション拠点事業との連携・協力
4) 八千代市への事業協力
<ul style="list-style-type: none">①八千代市担当課との連携・協力②八千代市在宅医療・介護連携支援センターとの連携・協力③八千代市リハビリテーション協議会との連携・協力

<p>5) 鎌ヶ谷市への事業協力 ①鎌ヶ谷市担当課との連携・協力 ②鎌ヶ谷市地域リハビリ活動支援事業実施機関との連携・協力</p> <p>6) 浦安市への事業協力 ①浦安市担当課との連携・協力 ②浦安市リハビリテーション連絡会との連携・協力</p>
<p>③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <p>a. 介護施設、在宅医療・介護現場向けのオンラインによるミールラウンドを通じた 摂食嚥下研修会 対象：圏域内介護施設</p> <p>b. ケアマネジャー・地域包括支援センターに対する相談支援</p> <p>c. 圏域内保健所・保健センターとの相談支援</p> <p>d. 歯科医師会との医科歯科連携事業の支援</p> <p>e. 地域リハビリテーション出前講座</p> <p>f. 小学生・中学生の職場体験受入</p> <p>g. 相談窓口の設置（随時受付、適宜地域リハ・パートナーにつなげる）</p>
<p>④研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリに関わる研修会の開催（年1～2回） 対象：地域リハビリ協議体、ちば地域リハ・パートナー、行政担当課、地域リハビリに関わる医療・介護職 ・八千代市医師会脳卒中地域連携講演会（R4. 11月上旬） 題目：未定 講師/座長：未定（八千代市医師会より選出） 対象：医療・介護機関対象 ・東葛南部圏域認知症セミナーの協力（年2回） 対象：一般市民対象 内容：認知症について ・地域リハビリに関連協議体が主催する研修会開催の協力 ・(再掲)地域リハビリテーション出前講座、小学生・中学生の職場体験受入
<p>2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業</p> <p>⑤～⑧ いずれか を記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組 <p>(⑤) 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(再掲)地域リハビリ関連協議体に対する運営協力 ・会議・研修会等の参加・支援 <p>(⑧) 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政担当課より障害領域の現状について調査し、関係機関に情報提供を行う

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	東葛北部 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	旭神経内科リハビリテーション病院
重点活動項目	コロナ禍の住民の健康増進・介護予防等の取組支援を行うべく、 地域リハビリボランティアの育成と活用を行っていく 地域リハ・パートナーとの共働を実践する

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 ・1回目 日時：R4.8.26 14時～ 場所：WEB開催 対象：各市担当者、地域包括支援センター、リハ・パートナー 内容：未定 (認知症疾患医療センターと共催) ・2回目 日時：R5.1.27 14時～ 場所：WEB開催 対象：各市担当者、地域包括支援センター、リハ・パートナー、当事者 内容：未定 (高次脳機能障害支援拠点機関と共催) イ その他の会議 ちば地域リハ・パートナー会議 日時：未定 (R5.2月頃予定) 場所：WEB開催 対象：東葛北部圏域のちば地域リハ・パートナー施設担当者 内容：今年度の実績報告、来年度の事業計画、情報提供、意見交換
②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナー協業のコーディネート ・東葛北部圏域の各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナーの意見交換会を実施し、介護予防の体操教室などへのアドバイス、体操教室へのスタッフ派遣などの協業体制のコーディネートを行う。

- ・地域包括支援センター健康度測定協力（随時）
- ・松戸市認知症初期集中支援チーム、地域ケア会議派遣に資する研修（松戸市公認）
主催：松戸市リハビリテーション連絡会
内容：「事例検討」（認知症初期集中支援チームチーム員会議形式）
日時：R4.6月頃
- ・オンライン通いの場実施の検討
リハビリのミニ講座やレクリエーションのオンライン配信を試行し、オンライン通いの場の実現へ向けた調整を行う。
- ・集団リハビリの効果の周知
介護予防・認知症予防教室での集団活動の効果について、前記連絡協議会やリハパートナー会議にて周知を図る

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・研修会を利用したリハビリに関する相談支援
研修会事前アンケートにて相談内容を把握
研修会での質疑応答対応および相談内容へのフォローアップ
- ・情報共有システムの共有
ちば地域リハ・パートナー向け研修会などの情報発信
- ・地域ボランティアからのリハビリ相談窓口調整
地域ボランティアとちば地域リハ・パートナーとのマッチングを行いリハビリ相談をしやすい環境の構築を目指す

④研修等の実施を通じた協働促進

研修会

- ・地域の医療機関、リハビリ施設や関係機関の職員等を対象として、リハビリに関する知識及び技術向上と施設内での共有を行うリーダーの育成、関連機関同士の連携の充実等を目的とした研修会、講演会を開催する
- ・研修参加者にオンラインシステムの扱いに慣れるための場を提供するため、同内容のオンライン研修も開催する

生活リハビリ普及員

①フォローアップ研修

- ・昨年度までに養成研修を終えた地域リハビリボランティア（「生活リハビリ普及員」）に対して、フォローアップ研修を行ない、継続して地域リハビリボランティアとして活躍できるよう育成を行っていく。

- ・本研修を地域リハ・パートナーも所属の市で行えるよう本研修への参加依頼を行っていく。

日程	内容
1 R4. 7. 22（オンライン） R4. 7. 28（集合）	「腰痛予防・足のつり」
2 R4. 9. 16（オンライン） R4. 9. 22（集合）	「四十肩・五十肩」
3 R4. 11. 18（オンライン） R4. 11. 24（集合）	「口腔体操」

②生活リハビリ普及員養成研修

・障害福祉施設職員を対象に新たに生活リハビリ普及員養成研修を行う

日程 内容

R4.6	第1回研修	「日常生活で行えるリハビリとは」
R4.7	第2回研修	「ポジショニング・シーティング」
R4.8	第3回研修	「リハからみた介助方法1 寝返り・起き上がり」
R4.9	第4回研修	「リハからみた介助方法2 立ち上がり・移乗」
R4.10	第5回研修	「摂食嚥下」
R4.11	第6回研修	「日常生活動作」
R4.12	第7回研修	「認知症リハビリ」
R5.1	第8回研修	「研修のまとめ」

高次脳機能障害を有する方への支援（オンラインプログラムの提供）

・高次脳機能障害を有する方への支援を行っているリハ・パートナー施設と協力し、高次脳機能障害を有する方向けの支援プログラムをオンラインで提供することによって、同時に多施設への支援を行う

（高次脳機能障害支援拠点機関と共催）

期間：R4.4月～R5.3月（月1回程度）

場所：彩会 まんてん（当院とオンライン通信）

内容：高次脳機能障害に関するミニ講義、レクリエーション、事例検討など

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧
いずれか
を記入し

⑤	地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
⑥	一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
⑦	資源が少ない領域の支援体制の構築
⑧	その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（ ⑤ ） 内容：

・（再掲）「生活リハビリ普及員」「高次脳機能障害を有する方への支援」におけるオンラインプログラムの提供

・（再掲）オンライン通いの場の実施検討

（ ⑥ ） 内容：

・（再掲）各市役所・地域包括支援センターとリハ・パートナー協業のコーディネート

・松戸市通所型元気応援クラブの希望グループへの健康度測定

(リハ・パートナーとの協業)

日時：R4.9、R5.3（予定）

対象：小金原6-7元気くらぶ

げんきかい？

いってみよう・やってみよう会

リリッシュくらぶ（旧栗ヶ沢自治会；昨年度より登録）

場所：上記各くらぶ活動実施会場

・介護予防・認知症予防教室支援

（松戸市小松園自治会・第2小金原6-7元気くらぶ）

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	印旛 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	成田リハビリテーション病院
重点活動項目	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域内7市2町・関係機関との事業協力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進・介護予防の取組支援（研修会、従事者協働促進、相談支援） ・現状把握と課題に対する取り組みに関する連携強化 ・リハ・パートナー施設との連携・活動充実 ○各市村での(仮称)療法士連絡会の設立

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 参集範囲；圏域内市町村、地域包括支援センター、リハ・パートナーなど 印旛地域広域支援センター連絡協議会の継続 議題；広域支援センター事業計画、ちば地域リハ・パートナー会議からの提議事項 圏域内のリハビリテーション資源についての情報交換 開催頻度；年1回を予定</p> <p>イ その他の会議</p> <p>(1)ちば地域リハ・パートナー会議 参集範囲；圏域内 ちば地域リハ・パートナー 内容；活動説明、各パートナーが可能な支援についての意見交換(近隣市町村別)、各病院・施設が抱えている問題、課題に対する検討 開催回数；年2回を予定</p> <p>(2)各市町での在宅リハビリテーションに関わる療法士、介護予防に関わる療法士連絡会の設置 参集範囲；職能団体や千葉POS、地区勉強会などの集いに参加している療法士 内容；ちば地域リハ・パートナー勧誘と地域リハに関わる課題の抽出 地域活動に関する情報共有と意識向上。活動における人員確保</p> <p>(3)地域包括支援センター職員とリハ職との意見交換会 参集範囲；地域包括支援センター職員と在宅リハビリテーションに関わる療法士 内容；名刺交換会と地域見える化システムを通じた公表数値の情報提供と共有</p> <hr/> <p>② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域リハに関わるニーズを把握するため市町村担当課へアンケート実施 ・市町村事業・会議へ積極的に参加し、活動寄与すると共に地域の情報収集・ニーズ把握

<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター主催の介護予防事業の協力（講師派遣、調整協力） ・介護予防事業へのPT・OT・ST等の派遣 ・地域ケア会議等へのPT・OT・ST等の派遣（意見交換）
<p>③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 随時電話・メール相談 ・療法士コミュニティの紹介 ・リハ・パートナーの協力を得て、活動支援・相談支援を推進
<p>④ 研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会・講演会開催（医療・介護職、一般市民向けに専門的または一般的なテーマで実施）
<p>2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業</p> <p>⑤～⑧いずれかを記入 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
<p>（⑥）内容：一般住民向けの広域支援センターパンフレット作製</p>
<p>（⑦）内容：域内大学リハ関係分野との交流深め、専門的見地に基づく地域診断を行い、具体的なリハ資源提供方法を研究</p>
<p>（⑧）内容：（再掲）医療に加えて、各市町での在宅リハビリテーションに関わる療法士、介護予防に関わる療法士連絡会の設置</p>

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	香取海匠 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	地方独立行政法人 総合病院 国保 旭中央病院
重点活動項目	① 地域ケア個別会議運営相談、専門職意見交換会 ② 旭市総合事業に係るリハ専門職の連携強化

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業	
①	連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 ・年1回開催(3月) 参集範囲：圏域内地域包括支援センター、保健所、地域リハ・パートナー他 イ その他の会議 ・香取海匠圏域 地域リハ・パートナー会議 年2回(6月、3月) ・生活期リハ支援班会議 年2回 ・地域ネットワーク支援班 会議 年6回 ・旭市リハ専門職連絡会(仮称)
②	地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 ・一般介護予防事業支援 ・地域ケア個別会議への専門職派遣等 《・地域リハビリテーション活動支援事業(旭市)》
③	リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援 ・リハビリテーションに関する相談対応 ・講師派遣(研修会・相談支援等)
④	研修等の実施を通じた協働促進 ・リハビリテーション講演会：12月 ・生活期リハ研修会 年2回(9月、1月) ・高次脳機能障害支援研修会：11月 ・地域ケア会議助言者向け意見交換会
2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業	
⑤～⑧ いずれかを記入	⑤地域診断と圏域の課題分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
(⑤)	内容：

- ・「障害者交流会 和希楽会」運営支援
 - ・令和4年度和希楽会全体集会：6月11日
 - 会場：香取市
 - 内容：香取市の見どころ紹介
 - 地域の障がい者団体・サークル紹介 等
 - ・和希楽会ニュース発行（年2回）：第24号（9月）、第25号（3月）
 - ・マッチング活動
 - （散歩、釣り、公園散歩、障がい者ゴルフ、オンライン交流会）
 - ・他団体イベントへの参加

（⑥）内容：

- ・地域住民を対象とした出前講座等への講師派遣

（⑧）内容：

- ・広報活動（ホームページ）
- ・地域リハビリテーション出前講座への講師派遣（小学生対象）
- ・各種会議・研修会等への参加

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	山武長生夷隅 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	九十九里病院
重点活動項目	① 圏域内17市町村等との顔の見えるネットワーク強化 ② ちば地域リハ・パートナーとの協働促進 ③ 「地域を知る」取り組み推進

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 参集範囲：圏域内医師会・歯科医師会・市町村・高齢協・老健協会・ヘルパー協会・訪看協会・中核地域生活支援センター・保健所、県庁、県リハ、ちば地域リハ・パートナー 議題：令和3年度山長夷地域リハ広域支援センター活動報告、令和4年度事業計画・経過報告等 開催回数：年2回（第1回：令和4年8月、第2回：令和5年3月）</p> <p>イ その他の会議</p> <p>● ちば地域リハ・パートナー会議 参集範囲：ちば地域リハ・パートナー 内容：意見交換会 開催回数：年12回</p>
<p>② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <p>● 地域リハビリテーション活動支援事業等</p> <p>【通いの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横芝光町：きらり若返り運動での体力測定・結果返却（12回/年） ・長柄町：体操へのアドバイス <p>その他、要請に応じて対応</p> <p>【地域ケア会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横芝光町：助言者（1回/月） ・白子町：助言者（4回/年） ・山武市：助言者（3回/年） ・芝山町：助言者（1回/年） ・茂原市：オブザーバー（1回/年） ・いすみ市：オブザーバー等（6回/年） <p>その他、要請に応じて対応</p> <p>● 介護予防・生活支援サービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九十九里町：通所型短期集中サービスCモデル事業（1回/週）

<ul style="list-style-type: none"> ・長生村：通所型短期集中サービスCモデル事業（2クール） ・長南町：介護予防教室での講演（2回/年） <p>その他、要請に応じて対応</p>
<p>③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東金市：1歳半健診での発達相談（10回/年） ● 随時、電話等での相談を受け付け対応
<p>④ 研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意見交換会 参集範囲：市町村、地域包括支援センター、ちば地域リハ・パートナー 内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討 開催回数：1回/年 ● 市民公開講座 参集範囲：地域住民等 内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討 開催回数：1回/年 ● 地域リハビリテーション専門職 参集範囲：圏域内専門職 内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討 開催回数：2～3回/年 <p>オンライン開催を含め、地域住民への普及促進もはかる</p>
<p>2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業</p> <p>⑤～⑧いずれかを記入 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
<p>（ ⑤ ）内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 挨拶まわりおよびアンケート調査（4～6月） ● 地域住民からのヒアリング（随時） <p>地域ケア会議、意見交換会での地域の実状把握（会議出席、開催時）</p>
<p>（ ⑥ ）内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山武市：自主グループでの講演（3回/年） ● 山武市：健康教室でのアドバイス（12回/年） ● 山武市：しおさいプロジェクトでのアドバイス（11回/年） <p>その他、要請に応じて対応</p>
<p>（ ⑦ ）内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出前講座（開催回数未定） ● 特別養護老人ホームへのST派遣（3回/年） ● 「その他、要請に応じて対応」
<p>（ ⑧ ）内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山武がつながるネットワークの会議・研修への参加（1回/月） ● 地域リハビリテーション関連研修、会議への参加（随時） <p>その他、要請に応じて対応</p>

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	安房 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	亀田総合病院
重点活動項目	1. 地域リハビリテーションに関する活動の見直し・再構築 2. 地域リハビリテーションに関する情報発信の体制を検討 3. 安房地域の現状の理解を深める

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築
ア 連絡協議会
連絡協議会の開催
目標) 広域支援センターの活動に理解を促すとともに協力を依頼
計画) 広域支援センターの活動の見直し・再構築し、会議開催を実施。
イ その他の会議
1) 地域リハ・パートナー会議
目標) 広域支援センターの活動に理解を促し、可能な範囲での協力を依頼
計画) オンラインを活用しての開催を実施
2) 広域支援センターの運営会議
目標) 広域支援センターの見直し・再構築を検証。情報発信の体制も検討。
計画) 定期的な会議を開催し、検証していく。
3) 広域支援センター内での地域リハ委員の活動
目標) 広域支援センターの計画をもとに、企画立案を行う
計画) 定期的な会議を開催し、研修等の準備を行う

4) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭・企画会議

目標) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭を開催のための企画立案

計画) 企画委員(広域・広域外)により、月1回程度会議を開催

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

②-1) 介護予防事業への協力

目標) 介護予防事業を通じて、市町村との協力関係構築、住民への支援を行う

計画) 協力依頼に応じて市町村と調整し、企画作成や講師派遣を行う

②-2) 地域の理解

目標) 地域の現状を知り、地域の状況を鑑みながら活動できるリハ専門職を増やす

計画) リハ専門職を主の対象とした勉強会を開催。

②-3) 市町村の活動への協力

目標) 市町村の活動に対して、協力や支援を実施する。

計画) 依頼内容を確認し、対応可能かを検討・対応する。

②-4) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催

目標) 地域の様々な方々に知る・発信する・体験する機会を提供する

計画) 対面での開催可能性も含めて、企画～開催を実施

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

③-1) 介護保険領域の事業所とリハビリテーション職種の連携

目標) 介護保険領域の事業所へのリハビリ職種の知識・技術を提供し、介護に活かす

計画) 勉強会を通して理解の促進。介護保険算定等につながる体制を構築

③-2) 相談に対する対応

目標) 広域支援センターの機能を鑑みながら、寄せられる相談に対応していく。

計画) 寄せられた相談については内容を精査し、対応を実施していく。

③ - 3) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催 (再掲)

目標) 地域の様々な方々に知る・発信する・体験する機会を提供する

計画) 対面での開催可能性も含めて、企画～開催を実施

④ 研修等の実施を通じた協働促進

④-1) 地域の理解 (再掲)

目標) 地域の現状を知り、地域の状況を鑑みながら活動できるリハ専門職を増やす

計画) リハ専門職を主の対象とした勉強会を開催。

④-2) 介護保険領域の事業所とリハビリテーション職種の連携 (再掲)

目標) 介護保険領域の事業所へのリハビリ職種の知識・技術を提供し、介護に活かす

計画) 勉強会を通して理解の促進。介護保険算定等につながる体制を構築

④-3) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催 (再掲)

目標) 地域の様々な方々に知る・発信する・体験する機会を提供する

計画) 対面での開催可能性も含めて、企画～開催を実施

④-4) 専門職向けの研修会

目標) 知識技術向上や連携を意識した研修会・企画の模索

計画) COVID-19 の地域での状況などを鑑みながら、活動を模索していく

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓

⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施

⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援

⑦資源が少ない領域の支援体制の構築

⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑦) 内容: COVID-19 の影響を鑑みながら、地域づくりの取り組みを模索

⑦-1) 専門職向けの研修会 (再掲)

目標) 知識技術向上や連携を意識した研修会・企画の模索

計画) COVID-19の地域での状況などを鑑みながら、活動を模索していく

⑦-2) 一般住民向けの取り組み

目標) 活動・参加を推進できる取り組みを実施

計画) COVID-19の地域での状況などを鑑みながら、活動を模索していく

⑦-3) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催(再掲)

目標) 地域の様々な方々に知る・発信する・体験する機会を提供する

計画) 対面での開催可能性も含めて、企画～開催を実施

(⑧) 内容: 地域リハビリテーションに関する活動の見直し・再構築

⑧-1) 広域支援センターの運営会議(再掲)

目標) 広域支援センターの見直し・再構築を検証。情報発信の体制も検討。

計画) 定期的な会議を開催し、検証していく。

⑧-2) 地域リハビリテーションについての整理

目標) 地域リハビリテーションの整理を行い、広域支援センターの活動に活かす

計画) 広域支援センターの活動の見直しを行いながら、整理を行っていく。

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	君津 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	国保直営総合病院 君津中央病院
重点活動項目	地域リハネットワークの連携強化および地域リハ活動に携わる人員支援 ①地域リハ・パートナー会議および君津圏域行政地域リハ意見交換会 圏域内のリハ・パートナーや行政と顔の見える関係を構築し、 今後の地域リハビリテーション活動における連携強化と活動の 充実を図る ②地域リハ・パートナー研修会 研修会を通しリハ・パートナー活動の充実化を図る

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

(1) 連絡協議会

実施方法：書面開催

開催時期：令和4年5月、11月を予定

参集団体：構成4市の高齢者福祉課・介護福祉課および社会福祉協議会、
君津健康福祉センター、医師会、歯科医師会、介護福祉士会、
介護支援専門員協議会、薬剤師会、栄養士会、老人福祉士施設
連絡協議会、訪問看護ステーション協会、君津圏域PT・OT・
ST連絡協議会

内 容：広域支援センター活動の周知、事業計画及び事業実績報告等

(2) その他の会議

ア 地域リハ・パートナー会議

実施方法：オンライン

開催時期：令和4年5月、令和5年2月を予定

参集団体：君津地域リハ・パートナー

内 容：リハ・パートナー研修会やリハ・パートナーの活動に関する
協議等

イ 千葉県及び千葉県リハビリテーション支援センター主催の会議参加

ア) 千葉県地域リハビリテーション協議会

イ) 千葉県地域リハ広域支援センター担当者連絡会議

ウ) 千葉県地域リハ広域支援センター実務者意見交換会

ウ 君津圏域行政地域リハ意見交換会

実施方法：オンライン開催

参集団体：構成4市の君津地域リハ連絡協議会担当課

②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

当圏域に関連する団体から地域ケア会議、介護予防事業への協力依頼があった場合には、地域リハ・パートナーの派遣を含め、人員調整を行う。

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

(1) 施設向け出張研修

下記ア～キのテーマについて依頼があった場合に研修を行う。尚、実施方法については、新型コロナウイルスの状況を考慮し、対面形式もしくはオンラインにて対応する。

- ア 腰痛予防体操と環境整備
- イ 自立を促すリハビリ体操
- ウ 認知症サポーター養成講座
- エ 認知症予防体操研修
- オ すぐに役立つ会話の技術～失語症を中心に～
- カ 早く気づこう嚥下障害
- キ 難聴高齢者とのコミュニケーション方法
- ク その他（上記以外のテーマについても個別に相談）

④研修等の実施を通じた協働促進

(1) 地域リハ・パートナー研修会

実施方法：オンライン

開催時期：令和5年1月を予定

対象：リハ・パートナー及び地域のPT・OT・ST

テーマ：「地域リハ・パートナー活動の理解度を深める」

内容：リハ・パートナーの活動の充実化を図ることを目的に、リハ・パートナー活動が多く行われている圏域の広域支援センター担当者およびリハ・パートナー担当者による講演を予定。

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧
いずれか
を記入

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容：一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援

(1) 市民公開フォーラム

実施方法：オンデマンド配信

開催時期：令和4年12月～令和5年1月を予定

テーマ：「地域で育む子どもの成長～お子さんの困った行動～」

内容：医師や臨床心理士による講演

(⑦) 内容：資源が少ない領域の支援体制の構築

(1) 小児領域におけるリーフレットの作成及び配布
圏域内の小児施設の所在が不明確であるという問題に対し、令和3年度に実施した調査結果から、情報提供に了承を得た圏域内の施設を一覧できるようにマッピング化したリーフレットを作成し配布する。

(⑧) 内容：その他地域リハビリテーションの推進に必要な取り組み

ア. 出前講座

圏域内の小学校から依頼があった場合に、地域リハビリテーションやリハビリテーションの仕事についてのオンライン講座を行う。

イ. 災害リハ

有事の際に広域支援センターが行えることを確認する目的に当院や県の災害担当者からの情報収集を行う。

ウ. 運営会議

広域支援センター事業の企画や運営を円滑に行うことを目的に、広域支援センター担当者にて定期的に会議を行う。

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	市原 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	白金整形外科病院
重点活動項目	<p>昨期立ち上げ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ相談事業…各地域への浸透、相談件数の増加及びパートナー協力取り付け ・専門職研修会…年3回の開催と参加数の増加、地域への周知の強化

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 年1回期末に開催（参集範囲：市内の医療介護福祉事業所） 感染症の動向により開催方法を変更</p> <p>イ その他の会議</p> <p>ちば・地域リハ・パートナー会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談事業への協力要請 ・専門職研修会 実行委員会（パートナーと年3回） <p>ちーき会 月1回開催</p>
<p>② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業 ・フレイル事業 ・主幹包括支援センターへの支援（自立支援型地域ケア会議・福祉総合相談） ・市原在宅医療介護連携推進会議への協力（イベント等） ・各種研修会への協力
<p>③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <p>共通：Web ツールを用いた事業所間の連絡相談体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所への支援 研修会講師またはリーフレット作成等啓発活動への協力 ・地域包括支援センターへの支援 介護予防事業講師派遣 リハビリテーション相談事業 福祉総合相談事業への協力（ちーき会での周知等） ・市原市認知症対策連絡協議会への支援

各種会合への参加
RUN 伴いちはら開催協力

④ 研修等の実施を通じた協働促進

市原市リハビリテーション専門職研修会（年3回予定）

ちーき会を通じた情報提供

（再掲）市町村介護予防事業、包括支援センター、通いの場等への講師派遣

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓

⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施

⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援

⑦資源が少ない領域の支援体制の構築

⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（ ⑤ ） 内容：地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施

（再掲）ちーき会での地域課題抽出

（ ⑥ ） 内容：一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援

タオル体操普及

口腔ケア啓発（グッズ制作等）

（ ⑦ ） 内容：資源が少ない領域の支援体制の構築

（再掲）市町村福祉総合相談事業への協力

（ ⑧ ） 内容：その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

広報活動（ホームページ更新、Web コンテンツ発信）

地域リハビリテーションフォーラムへの参加

その他依頼のあった支援活動への参加

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。